



2019年3月26日
高松空港株式会社

高松空港 台湾桃園国際空港との提携について

高松空港株式会社（代表取締役社長：渡部哲也）は、台湾桃園国際空港株式会社（会長：王明德）と、台湾と四国・瀬戸内の一層の交流人口の拡大を大きな目的として、提携協定を締結することとなりました。当社としては初、台湾桃園国際空港株式会社としては、日本の空港では成田、関西に次いで3番目の提携となります。

なお、台湾桃園国際空港にはチャイナエアラインによって現在、週6便高松空港より定期就航しておりますが、2019年夏期スケジュール（2019年3月31日～）からデイリー運航が決定し、お客様により高い利便性が提供されます。

高松空港株式会社は、提携協定に基づき、引き続き台湾と四国・瀬戸内の交流人口の拡大を推進し、航空路線ネットワークの拡充に努めてまいります。

提携協定の概要

1. 空港運営に関して幅広く情報交換を行い、双方向の人材交流を通じて互いに知識や経験を共有する。
2. 台湾と四国・瀬戸内の航空需要および観光需要喚起を促進し、交流人口を拡大するため、共同でマーケティング、プロモーションを行う。



高松空港と台湾桃園国際空港との提携協定（参考日本語訳）

台湾桃園国際空港の運営者である桃園国際空港株式会社（以下、桃園空港）と、高松空港の運営者である高松空港株式会社（以下、高松空港）は、両空港間の航空輸送を促進し、互いの利用者により高品質なサービスを提供することを目的として、戦略的かつ友好的なパートナーシップを構築するため、提携する。

桃園空港と高松空港は以下の提携内容に合意する。

1. 情報交換

世界の航空輸送業の変化に対応し、両当事者の利益を増進するため、安全、空港運営、マーケティングおよび空港サービスに関する専門的な知識および情報の交換を行う。

2. 定期的な協議

定期的な協議を通じて、両空港間の航空需要の促進、利用者への高品質なサービスの提供および空港運営に関する諸課題の解決を図る。

3. 人材交流

東アジアの航空産業の諸課題や動向に関する情報を収集し研究するため、相互の人材交流を行い、グローバルマインドを持った人材の育成に努める。



4. 共同マーケティング

両空港間の貨客流動増進のため、共同でマーケティングを行う。マーケティングの対象には以下を含む。

- I. デジタルマーケティング
- II. 地域の物産品に関するマーケティング
- III. 観光地に関するマーケティング
- IV. ビジネス需要に関するマーケティング
- V. 旅行商品の開発
- VI. 航空貨物輸送の促進

5. 本覚書は、両者による署名の日から発効するものとし、いずれかの当事者も、相手方に1ヵ月前に書面による通知を行うことにより、この覚書を終了することができる。

2019年4月2日

台湾桃園国際空港株式会社

会長

王 明德

高松空港株式会社

代表取締役社長

渡部 哲也